

令和8年度 第1回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	⑨中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援	街灯設置費奨励補助金	①行政区(自治会)等が設置・管理している街灯のLED化に要する経費に対して補助金を交付することで、電力価格高騰の影響を受けている行政区(自治会)等の電気料金の負担軽減を図る。 ②行政区等への補助金(照明器具等一式に係る費用、設置工事費、その他必要な経費) ③補助率を4分の3とし、街灯は1灯当たり18,700円が上限。 18,700円×55灯＝1,029千円 ④LED化していない既設街灯を管理する行政区等	R8.4	R9.3
2	③物価高騰に伴う子育て世帯支援	第3子以降保育料無償化事業【第2弾】	①県の補助金を活用し、第3子以降の全ての子どもの保育料を無償化することで、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の経済的負担軽減を図る。 ②第3子以降保育料の無償化に係る費用(私立保育所利用者負担金の減額【歳入減】、補助金(企業主導型保育事業所・届出保育施設)及び扶助費(認定こども園・小規模保育事業所・公立保育所)の支出【歳出増】) ③ 私立保育所 23,576千円 企業主導型保育事業所・届出保育施設 3,228千円 認定こども園・小規模保育事業所・公立保育所 12,584千円 合計 39,388千円(うち13,668千円に臨時交付金を充当予定。県補助金は25,720千円の予定) ④市内在住で、保育所等に入所する第3子以降の子どもをもつ保護者	R8.4	R9.3
3	⑧農林水産業における物価高騰対策支援	DX推進事業費補助金	①福岡県の取り組みに合わせて、燃料や農薬使用量の低減・省力化につながるスマート農業機器の導入費を支援することで、物価高騰の影響を受ける農家の経済的負担軽減及び経営安定を図る。 ②DX推進事業費補助金 ③ 補助対象:ロボットコンバイン、ロボットトラクター等農業者の収益力向上の取り組みとして導入するスマート農業機械 補助率:購入費用の2分の1以内(県は3分の1、市は6分の1を支援) 事業費:15,746千円(うち5,249千円に臨時交付金を充当予定。県補助金は10,497千円の予定) ④農事組合法人を含む認定農業者	R8.4	R9.3
4	①食料品の物価高騰に対する特別加算	学校給食費助成事業(中学校)【第5弾】	①食材費等の物価高騰に伴って中学校の給食費の値上げが必要な状況であるが、給食費の値上げ相当分を保護者に転嫁せず、市が負担して支援することで、子育て世帯の負担軽減を図る。 ②学校給食材料費(物価高騰分) ③〔助成額(値上げ相当額)〕 中学校 1人当たり月額1,100円 ※教職員等は支援対象外。 〔積算〕 中学校 1,100円×11回×1,460人＝17,666千円 ④中学校の生徒の保護者	R8.4	R9.3